

報道関係各位

2026年1月16日

株式会社日本アクア
(東証プライム 1429)

日本アクア「CDP 2025 年度気候変動調査」で 2 年連続 B スコア獲得

現場発泡ウレタン断熱材シェア No.1 の株式会社日本アクア（本社：東京都港区、代表取締役社長：中村 文隆）は、国際的な非営利団体 CDP*が実施する 2025 年度気候変動調査において、マネジメントレベルトされる「B スコア」を獲得しましたので、お知らせいたします。なお、当社の「B スコア」獲得は、2024 年度に続き 2 年連続となります。



*CDP (Carbon Disclosure Project) は、企業や自治体が気候変動に関する影響やリスク、温室効果ガスの排出量などの情報を開示するための国際的なプラットフォームです。2000 年に設立され、主に企業や団体に対して、環境への影響に関する透明性を高めることを目的としています。

企業は毎年、CDP が提供する質問票に回答することで、自社の環境戦略や温室効果ガス排出量、再生可能エネルギーの使用状況、気候変動リスクへの対応策などについて報告します。この情報は、投資家や消費者、政府、NGO などが利用し、企業の持続可能性を評価する材料となります。

CDP には、世界中の多くの企業が参加しており、2025 年度は、運用資産総額 127 兆米ドル、640 もの投資家が、CDP のプラットフォームを通じた環境情報の開示を求め、22,100 社以上の企業がこれに応じました。

また、CDP の評価は「A」から「D-」までのスコアで示され、企業の気候変動への対応の透明性やリーダーシップが評価されます。

■評価について

CDPのBスコアは、企業が気候変動への対応を単なる「実務的な対応」にとどまらず、経営戦略の一環としてマネジメントレベルで積極的に推進していることを示すものであり、企業の持続可能な成長に向けた基盤作りが進んでいることを評価されています。

具体的には、Bスコアを獲得した企業は、以下のようなマネジメントレベルでの取り組みが評価されます：

気候リスクの管理体制の構築：企業の経営陣が気候変動リスクを重要な経営課題と認識し、リスクを評価・管理するための組織的な体制を整えていること。

戦略的な目標設定と実行：企業が温室効果ガスの削減目標や再生可能エネルギーの導入目標など、具体的で実行可能な目標を設定し、それを達成するための施策を実行していること。

経営陣の責任と透明性：気候変動への対応が経営陣の責任の下で進められていること、そしてその進捗や成果について定期的に透明性を持って報告していること。

今後も事業活動を通じて社会課題の解決に取り組み、持続可能な社会の実現を目指してまいります。

以上

【会社概要】

会社名：株式会社日本アクア

上場市場：東京証券取引所 プライム市場（証券コード：1429）

代表者：代表取締役社長 中村 文隆

所在地：東京都港区港南2丁目16-2 太陽生命品川ビル20階

設立：2004年11月

事業内容：建築断熱用硬質ウレタンフォーム「アクアフォーム」販売・施工

　住宅省エネルギー関連部材の開発・製造・販売

URL：<https://www.n-aqua.jp>

サステナビリティサイト：<https://www.n-aqua.jp/sustainability/>

【お問い合わせ先】

株式会社日本アクア 経営企画部 小室 昌彦

電話番号：03-5463-1117

Eメール：m.komuro@n-aqua.com